

Vol.63

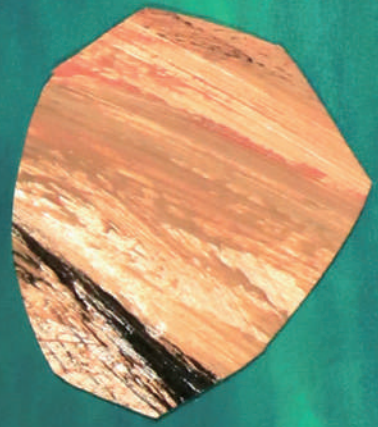
令和3年(2021年)12月1日発行


主な記事

議員の紹介…………… 4・5

議会が厳しくチェック…………… 8

委員会活動レポート…………… 14・15



みなさんの暮らしと
つながっています。

議は
会ま
だだ
より



新体制議会始動



市民から信頼され、必要とされる議会へ

議長 笹田 卓

私は3期12年、“市民から目線”というスローガンを掲げて市政発展のために精進してきました。市民からは多岐にわたる声を耳にします。その市民に応える議会、市民から必要とされ信頼される議会になることが望まれます。

議会改革をさらに進める上で特に力を入れるべき事項は、委員会活動の強化、広報広聴活動の強化に加えて、申し送られている事項についても取組みながら、活動の見える議会を目指します。

3つの常任委員会の機能を充実させるためには、政策立案、条例制定まで進めていく必要があります。予算編成スケジュールも考慮した政策形成サイクルを確立させることが議会機能を高めるために重要ではないかと考えています。

広報広聴機能の強化については、前期の評価された取組も含め、さらに高めていく必要があります。議会を知ってもらうために小・中学校や高等学校にも

出向していくことも必要です。地域協議会から複数回数実施の要望があった意見交換会をさらに充実させる必要もあります。また、委員会単位でこちらから出向いて、さまざまな団体と意見交換を行うことも必要でしょう。真摯にさまざまな意見を聞く必要があり、とにかく出向いて信頼を勝ち取るように働く必要があります。

取組むべき事項は多々ありますが、本当に一番大切なのは、ここに選ばれた22人が市民にとって最良の選択は何かをしっかりと議論することです。定数を減らすべき、報酬を下げるべきなど、消極的な意見を向けられることなくきちんと仕事をしていると言われるような議会を目指します。

議会基本条例には、「浜田市議会議員は、石見人としての誇りと高い識見を備え、全国の地方議会の模範となる議会改革を掲げて絶えず精進し、全ての市民が安全で安心して、幸せに暮らすことができるよう最大限の努力をしなければならない」とあります。市民から必要とされ、信頼されるよう最大限努力します。

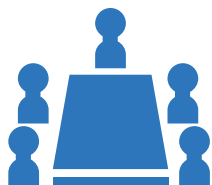
経験を生かし、議長をサポート！

副議長 川神裕司

2014年日本創生会議発表の896の消滅可能性自治体リストにわが浜田市の記載があり、改めて歯止めがかからない人口減少に危機感を覚えました。さらに少子高齢化の進展、2025年問題の対処不足、地域経済低迷も加わり、地方都市浜田の活力低下を痛感しました。今後未体験の超少子高齢化時代を迎え、その時代を生き抜くため、まちづくりと議会運営は新しいステージに突入したと感じておりました。それら諸課題の解決を、先頭に立ち推進したいと思い、4年前の議長選挙に立候補しました。議長任期においては、情報公開を中心とした開かれた議会運営、議会事務局機能の強化、政策討論会の開催、行政監査機能の強化、中山間地域振興特別委員会の新設など、議会一丸となって全力で取組んできました。

そして現在の最優先課題の新型コロナウイルス対策は、議会と執行部が一丸となり取組まなくてはならない極めて重要な問題です。市民の声をしっかり受け止め、引き続き感染防止の徹底と、落ち込んでいる経済の再生に挑戦する必要があります。このような思いを持ち続け、組織の新陳代謝、トップリーダーの若返りも考えた結果、新しい議長を、今までの議長経験を十分生かして、後方からしっかりと支えることが私の役割と思いました。精いっぱい頑張りますので、よろしくお願いいたします。





11月臨時会議報告

令和3年11月1日から2日にかけて浜田市議会臨時会議を開催しました。初日に議長及び副議長選挙、議会運営委員会及び常任委員会の選任を行い、その結果、議長は笹田卓議員、副議長は川神裕司議員となりました。今後も全議員が市民の皆さんの代表として、市政発展のために全力で取組みます。その他の議決事項は以下のとおりです。

○議会提出議案等

(1) 浜田市議会委員会条例の一部を改正する条例について

議員定数が24人から22人に減少したことなどに伴い、各種委員会の定数を変更しました。

(2) 議会改革推進特別委員会の設置について

改選後直ちに議会改革を推し進められるよう本臨時会議で設置しました。委員構成は以下のとおりです。(◎：委員長、○副委員長)

◎牛尾 昭、○西田 清久、足立 豪、村武 まゆみ、小川 稔宏、佐々木 豊治、田畑 敬二

(3) 議長の常任委員会委員の辞任について

議長は公正な議会運営の立場から、常任委員会に選任された後、辞任することができません。通例として、笹田議長から辞任の申し出があったため、議長を除く21人が3つの常任委員会（総務文教委員会、福祉環境委員会、産業建設委員会）に7人ずつ所属することとなりました。委員の構成は4～5ページをご確認ください。

○市長提出議案

・同意第6号 浜田市監査委員の選任について

現在の浜田市監査委員の任期満了に伴って上程された同意議案です。新委員には現委員続投という提案でした。この議案については、総務文教委員会に付託し、略歴や監査業務の内容などの質疑を経て、特に問題となる点は見受けられず、全会一致で原案のとおり同意すべきものと決しました。

○その他選出事項

以下の議員が務めることと決しました。

・浜田地区広域行政組合議会議員

大谷 学、足立 豪、柳楽 真智子、串崎 利行、芦谷 英夫、牛尾 昭

・浜田市江津市旧有福村有財産共同管理組合議会議員

布施 賢司、岡本 正友、佐々木 豊治、田畑 敬二、西田 清久、川神 裕司

・浜田市監査委員

岡本 正友



3番 / おおたに まなぶ 大谷 学

総務文教 広報広聴

市民の声を傾聴し、発信力を強化して活気づけに力を注ぎたいです。



4番 / みうら ひろき 三浦 大紀

○総務文教 議会運営 ◎広報広聴

皆さんに身近に思っていただけの議会づくりに励みます。



5番 / おきた しんじ 沖田 真治

産業建設 広報広聴 ◎予算決算 議会運営

皆さんの声を市政に反映するように、努めてまいります。



9番 / なぎら まちこ 柳楽 真智子

福祉環境 ○議会運営

いつでも平常心を保ち、冷静な判断を行うよう努力します。



10番 / くさき としゆき 串崎 利行

産業建設 議会運営 ○予算決算

初心を忘れず、市民の声を聴き、浜田市が元気になるよう頑張ります。



11番 / おがわ としひろ 小川 稔宏

◎福祉環境 議会運営 広報広聴

尊厳を踏みにじる理不尽・不条理に抗し、笑顔で暮らせる町を目指します。



15番 / おかもと まさとし 岡本 正友

福祉環境

市民の声をしっかり受け止めて、実行実現していきます。



16番 / あしたに ひでお 芦谷 英夫

総務文教

市民あつての市政。市民参加の仕組みづくりにまい進します。



17番 / ながみ としひさ 永見 利久

◎総務文教

市民の皆さんの、生活に影響ある課題や問題の解決に努めます。



21番 / かわかみ ひろし 川神 裕司

副議長 福祉環境 広報広聴

「人の数より想いの数」大切なことは地域を愛し人を育む「想」



22番 / うしお あきら 牛尾 昭

産業建設 議会運営

10期目を迎え、身が引き締まります。

略称一覧

- ◎：委員長
- ：副委員長
- 総務文教委員会：総務文教
- 福祉環境委員会：福祉環境
- 産業建設委員会：産業建設
- 予算決算委員会：予算決算
- 議会広報広聴委員会：広報広聴
- 議会運営委員会：議会運営

※予算決算委員会は議長以外の全議員が委員です。



議員の 紹介



1番 / 肥後 孝俊

総務文教 広報広聴
議会運営

皆さまこんにちは、肥後孝俊です。よろしくお願いたします。



2番 / 村木 勝也

福祉環境 広報広聴

実態を把握し、活動を意識し、制度が習慣となるよう取組みます。



6番 / 足立 敏豪

○福祉環境 議会運営

誰もが幸せに生きることを当たり前。



7番 / 村武 まゆみ

福祉環境 ○広報広聴

誰もが安心して暮らし、若者が未来を感じる町を目指します。



8番 / 川上 幾雄

◎産業建設 広報広聴
議会運営

気になること、変と感じたことを納得できるまで調べます。



12番 / 上野 茂

産業建設 広報広聴

市民の意見と要望をしっかりと聴き、議会に対応します。



13番 / 笹田 卓

議長

市民から目線で市政を進めます。



14番 / 布施 賢司

産業建設 ◎議会運営

勇気は生きがいの源なり、進んで取組め困難に！



18番 / 佐々木 豊治

総務文教

現場の声をカタチにできるよう、努力・精進してまいります。



19番 / 田畑 敬二

○産業建設

全てに全力で取組みます。



20番 / 西田 清久

総務文教

市民の負託を背に、ぶれないでバランスの取れた市政にまい進します。

9月定例会議



今回はこれがポイント!

災害復興は迅速に。暮らしに安心を。

9月定例会議では、市長提出議案32件と議会提出議案2件について審議しました。

市長提出議案の中の**浜田市立幼稚園条例の一部を改正する条例**は、多くの保護者から要望のあった預かり保育を公立幼稚園3園で実施することに伴い定めるもので、保護者の負担軽減が期待されます。**浜田市江津市旧有福村有財産共同管理組合に関する議案3件**は、有福温泉の管理運営及び温泉の利用に関する事務の共同処理のために設置されて60年を経過する同組合が、令和3年12月31日に解散することに伴い、財産の処分などを定めるものです。今後は、温泉施設を所有する江津市において、地域の活性化に向けた利活用が進められます。**令和3年度浜田市一般会計補正予算（第7号、第8号）**では、この夏の豪雨及び台風の被害に伴う災害復興の予算が計上されました。**周布橋仮設歩道橋整備事業**（1億5千万円）は、現在通行止めの周布橋が復旧するまでの間の仮設歩道橋を設置する事業です。予算決算委員会では設置に係る財源の確保や、市民からの要望を踏まえて、自由討議を行いました。

請願では、**加齢性難聴者の補聴器購入費助成制度の創設及び意見書の提出を求める請願**が提出されました。加齢性難聴者に対する支援の必要性は十分に理解した上で、国の動向を見極めながら対応する必要があるとの判断から、継続審査としました。なお、本請願は、議員任期満了に伴い審議未了となり、廃案となりました。

議会提出議案では、**令和2年度決算認定に対する附帯決議**を提出しました。これは決算認定においてこれまで付してきた附帯意見を、対外的に分かるよう議会の意思として示すための決議です。決算認定の詳細は8ページをご覧ください。

トピックス

公立幼稚園の預かり保育の開始で 安心して子育てができる環境を



預かり保育の様子

浜田市立幼稚園の保護者から要望があった預かり保育について、令和5年度の統合を待たず、本年10月から前倒しで実施するための条例改正案を全会一致で可決しました。

総務文教委員会では、保護者の方々からの要望を踏まえ、勉強会や議論を重ね、預かり保育の実施を含む「こどもの可能性を育む幼児教育について」の提言書を5月に市へ提出し、本件は実施に至りました。

問 公立幼稚園での預かり保育とはどういうものですか？

答 保護者が安心して子育てができるよう、教育課程に係る教育時間の終了後に、園児を一時的に預かり、保育を行うことです。

問 預かり保育を利用できる時間はどれくらいですか？

答 開園日の午後2時から4時まで利用できます。ただし、園の都合により実施しない日もあります。

問 利用料金はいくらですか？

答 1日当たり400円です。保護者が就労しているなど、保育認定を受けた場合は無料になります。

問 職員体制はどうなりますか？

答 原則2人体制とし、現在の体制の範囲内で実施します。

浜田市江津市旧有福村有財産 共同管理組合解散へ

令和3年12月31日限りで組合が解散することに伴い、財産の処分や規約の改正に関する議案を可決しました。

令和元年度に「有福温泉開発協議会」が設置され、共同管理体制のあり方について検討が重ねられました。令和3年3月に同協議会から「長年の懸念である財産処分協議を早急に解決し、共同管理組合を解散すること」との報告がなされ、浜田市と江津市、両市長合意の上、最終的に解散する方針となり、このたび上程されました。



有福温泉 御前湯

問 旧有福村の財産はどのように処分されますか？

答 共同管理組合が管理していた温泉施設は全て江津市が継承します。その他の宅地、雑種地、山林などは両市の境界線に基づいて、それぞれ継承します。

問 温泉利用定期券は引き続き使えますか？

答 現在定期期間中のものは引き続き使えます。令和3年度中は購入もできません。令和4年4月からは旧有福村の方以外の浜田市民は購入できません。

問 なぜ解散に伴う施設改修費用を両市で折半したのですか？

答 従来であれば、規約に基づいて浜田市が58%、江津市が42%の負担ですが、今回は両市対等な立場として、折半すると整理しました。

7月以降の豪雨 台風9号から早期の復興を

この夏の豪雨により被害を受けた被災者救済をはじめ、農地や林地などの復興に要する補正予算を全会一致で可決しました。

特に現在通行止めとなっている周布橋は、重要な生活道路であるため、1億5千万円をかけて仮設歩道橋を整備します。予算決算委員会では、仮設歩道橋の幅員などについて議員間で自由討議を行いました。周布地区での生活が早期に安全に復旧することを願い、議会も市へ働き掛けます。



通行止めとなっている周布橋

問 周布橋の架け替えはどれくらい年数がかかりますか？

答 3年から5年かかる見込みです。

問 仮設歩道橋は丈夫なものを設置されますか？

答 基礎のしっかりしたものを設置します。コロナ禍で工期が延長する可能性も踏まえて手配します。

問 周布橋に設置されている水道管などに影響はありませんか？

答 仮設歩道橋に移せるよう検討しています。

問 仮設歩道橋の幅員は2.5メートルのことで、地域住民にとって重要な生活道路、通学路であるため、予算を増額してでもさらに広い幅が必要では？

答 そのような声も踏まえ、幅員などを検討します。

議案等の賛否の公開

9月定例会議で賛否が分かれた議案は以下のとおりです。各議員の賛否や反対理由、請願・陳情審査結果などの詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

令和3年9月定例会議 市長提出議案32、議会提出議案2件

| 議案番号 | 議案名 | 賛成 | 反対 |
|--------|--------------------------------|----|------|
| 認定第1号 | 令和2年度浜田市一般会計歳入歳出決算認定について | 22 | 1 西村 |
| 認定第2号 | 令和2年度浜田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について | 22 | 1 西村 |
| 発議第10号 | 令和2年度決算認定に対する附帯決議について | 22 | 1 西村 |

請願・陳情について (請願1件、陳情36件)

| 請願の内容 | 提出者 | 委員会での審査結果 |
|----------------------------------|--|-----------|
| 加齢性難聴者の補聴器購入費助成制度の創設及び意見書の提出について | 全日本年金者組合島根県本部石見支部 支部長 深野 政勝 江津市二宮町神主 | 継続審査 |

check! check! check!

令和2年度のお金の使い方

議会が厳しく チェック

9月は決算議会と言われるように、前年度の決算を審査することがメインです。



9月定例会議で令和2年度浜田市一般会計と特別会計などの決算審査を行いました。

「市政に対する市民からの信頼を確保するためにも業務全般についてコンプライアンス（法令等の順守）及び適正な公金支出の意識を徹底するとともに、リスク管理を強化し、時勢の変化に対応した行政運営を図り、将来にわたり市民サービスを継続的、安定的に供給できるように、効率性、有効性を意識した行政運営の推進を。」という監査委員からの指摘を参考に、3日間にわたり、134の質問を通して、慎重に審査しました。決算を賛成多数で認定した後、以下の附帯決議を提出しました。

附帯決議（概要のみ掲載）

- 認定第1号 令和2年度浜田市一般会計歳入歳出決算認定について
 - (1) 執行率の低い事業の要因分析と課題設定を行い、最少の経費で最大の効果があがるよう努力を
 - (2) 今後の基金の状況も踏まえながら、新型コロナウイルス感染症対策事業のさらなる充実を
- 認定第11号 令和2年度浜田市公共下水道事業会計決算認定について
 - (1) 基準外繰入への依存解消に向け、持続可能な経営が推進できるように、事業計画の適正化を

用語

解説

附帯意見
決算認定に関わる意見・要望のことです。議会から毎年市に対して意見を付してきましたが、今回は附帯決議を可決しました。

附帯決議

審議の対象となる議案などに付随的に付けられる意見・要望を議会の意思として対外的に表明できるものです。附帯決議は内容を本会議で諮るため、より重みのある意見と言えます。

✓新事業、浜田応援団の取組実績は？

- 問** 浜田応援団の現在の団員数は？
- 答** 122名の登録があり、令和2年度は66名の応援団員が事業に参加した。
- 問** 事業の中の「地域とのマッチング」にはどのような事例があるか？
- 答** オンライン料理教室の開催、オンラインツアーの参加協力、アンケートやモニターへの協力などがあり、34名の方に関わってもらった。参加者にはふる

さと浜田との距離を近く感じていただけたと認識している。

問 122名の登録者のうち、事業に関わったのは34名ということだが、応援団員と地域のマッチングが成果では？もっと成果が上がるよう推進してほしい。

答 応援団の方から応援内容が提案される場合もあり、そのような思いも大切にしてい進める。



✓地域おこし協力隊員が定着できるサポートを

- 問** 地域おこし協力隊員の活動状況は？
- 答** 事業継承は商工団体と連携した企業訪問で人脈づくりを行い、事業継承を希望される企業へのショートインターンも組み入れた。料理人育成については、料理修行を5事業者のもとで行ったが、3月の更新時には辞退され、隊員は現在不在である。
- 問** 隊員が辞退されたとのことだが、事業の制度

に不備はなく、市からのサポートは十分だったのか？

隊員の方はご家族を連れて人生を賭けて浜田に来られている。誠意のあるサポートをお願いする。

答 コロナ禍で事業者訪問が困難であったこと、事業者が継承を踏みとどまったことなど厳しい状況はあった。隊員が知りたい情報を十分に届けられる体制整備に取り組む。



✓執行率約30%で地球温暖化対策は十分なのか？

- 問** 令和元年度に続いて地球温暖化対策支援事業は執行率が低い。どのような課題があるか？
- 答** 地球温暖化対策は市民への周知や啓発が大切である。脱炭素社会の実現に向けた国の動向を、講演会や広報などで工夫しながら伝える必要がある。
- 問** 補助金の項目が少ない。市民が簡単にできる対策などに支援する考えはないのか？
- 答** 島根県の補助制度に沿って事業を実施しているが、県にはあって当市にない補助制度もある。また、国の補助金も確認しながら、補助内容の拡充を図りたい。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



浜田市議会はSDGs（持続可能な開発目標）を推進しています。質問内容をSDGsの17のゴールで分類しています。

市政を問う



20人が個人一般質問

各議員が市民の代表として、市長などに、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問をただしました。詳しい内容は市議会ホームページでご覧いただけます。



貧困をなくそう

せめて国保料率算定の考え方は示すべき

Q 貧困をなくそう

A 県内国保料水準の統一に向け議論が進められており、他市町村の動向を見極めた上で検討する。

Q 来年度から始まる未就学児に対する均等割額の軽減措置を、市の施策として負担ゼロにする考えはないか。

A 県内国保料水準の統一に向け議論が進められており、他市町村の動向を見極めた上で検討する。

Q 料率ではないか、考え方

A 料率についてはの見解を示すことは可能であり、今後は説明したい。

Q 料率ではないか、考え方

A 料率についてはの見解を示すことは可能であり、今後は説明したい。



西村 健



すべての人に健康と福祉を

医療的ケア児への支援充実を！

Q 医療的ケア児の学ぶ機

A 医療的ケア児の学ぶ機

Q 医療的ケアの必要な子

A 今後、医療行為を行う

Q 医療的ケアの必要な子

A 今後、医療行為を行う

Q 医療的ケアの必要な子

A 今後、医療行為を行う



柳楽 真智子

メンタル不調を増やさない仕組みづくり

Q 度を越えたクレームは

A 特定の職員だけの対応

Q クレーム被害を増やさ

A 相談窓口の設置、医療

Q クレーム被害を増やさ

A 相談窓口の設置、医療

Q クレーム被害を増やさ

A 相談窓口の設置、医療



小川 稔宏

質の高い教育をみんなに

子どもたちの生活環境を改善すべきだ！

Q 浜田市の就学援助率22.8%は、全国平均よりも相当高い。児童の貧困が教員を「お世話する人」にして、授業に向き合う時間や集中力を奪っている。2人のスクールソーシャルワーカーと7人のスクールカウンセラーを増員すべきでは？

A 引き続き指導とカウンセリング充実に取り組む。

Q 浜田市は、居場所支援と高齢者との世代間交流の拠点として、中学校区の一つの「子ども食堂」の設置に向けて積極的に取り組むべきではないか？

A 子どもたちが社会的孤立に陥らないよう、子どもの居場所づくりに向けて「子ども食堂」を開設する団体の相談に乗り応援していく。県の補助金もあるので、紹介したい。



澁谷 幹雄

美川牛谷地区の通学路危険箇所の対策を

Q はまだ市民一日議会でも要望が出された、美川の牛谷地区から通学する子どもたちの通学路安全対策について、早急に抜本的な対策が必要と思うが対応を問う。

A 千葉県での交通事故を受け、これまで上がった危険箇所について国から再点検を行う依頼が来ている。関係機関と連携し、対応の再検討を行う。

Q 道路拡幅が困難であれば、特に危険な箇所だけでも簡易な対応ができないか問う。

A 可能な対応を検討する。簡易な歩道や啓発看板の設置など、他にも考えられる対応があると思うがどうか。

A 道路の表示や段差など、車側への啓発の方法も考えていきたい。



佐々木 豊治

働きがいも経済成長も

農村での所得と雇用の創出について

Q 農村での所得と雇用の創出について問う。

A もうかる農業に向けた経営体の取組を支援する。農業以外の仕事との組み合わせや、担い手不在による農地の荒廃化を防ぐ取組など、人口減少を見据えた新たな農業政策も必要と考えている。

Q 農村を支える新たな働き方や活力の創出について問う。

A 農村に多様な形で関わる人材の創出・拡大を図り、地域の支えとなる担い手の視野を広げる環境づくりが重要。農泊や農業体験を通じて農業や農村に関心を持つ方を対象に、持続的に農村に関わることが出来る機会を提示し、将来的な農村への移住者や潜在的な農村の担い手の増加を図る。



申崎 利行

ケーブルテレビの光回線化を最大限生かそう

Q 新型コロナウイルスや毎年起こる豪雨災害などにより、人々の生活や仕事の形態が変わる。都市部と地方の関係でテレワークやワーケーション推進の考えについて問う。

A 今後考えられる働き方を推進していく上で必要な環境整備としてケーブルテレビの光回線化などを進めている。

Q 高度情報通信網整備が進めば、浜田市において増加する空き家、空き店舗、空き公共施設などの活用と里山文化や伝統芸能、温泉、郷土料理などの資源を活用した取組ができるのでは？

A どのような視点で地域資源を活かしたテレワークやワーケーションの推進が可能か議論を重ね、有効な施策を検討する。



西田 清久



住み続けられるまちづくりを

感染対策に万全を期し 市民に寄り添う支援を

- Q** 市民のコロナ感染に対する、入院ベッド数、宿泊療養施設などの確保は十分か。
- A** 無症状者や軽症者の早期退院、宿泊療養への移行で病床を確保し、自宅療養者へのサポートは医師会と連携し対応する。
- Q** 市民や事業者に支援策が行き届いているのか。
- A** コロナ禍の影響は今後も続く。国県の支援策を踏まえ、適切な時期に必要な支援策を検討する。
- Q** 市民や事業者の状況把握のため、窓口拡充など体制を強化する必要はないか。
- A** 各部署がしっかりと窓口機能を担い、対策本部会議で情報共有するなど体制強化に努める。



芦谷 英夫

石見神楽を市指定文化財に認定すべき！



石見神楽は浜田の宝！

- Q** 石見神楽は浜田の宝である。その石見神楽を市の文化財に指定すべきと考える。
- A** できない理由を並べるのではなく、どうすればできるかを考え、早急に認定に向けて動いていく。
- Q** 石見神楽は浜田の宝である。その石見神楽を市の文化財に指定すべきと考える。
- A** できない理由を並べるのではなく、どうすればできるかを考え、早急に認定に向けて動いていく。
- Q** 石見神楽は浜田の宝である。その石見神楽を市の文化財に指定すべきと考える。
- A** できない理由を並べるのではなく、どうすればできるかを考え、早急に認定に向けて動いていく。



菅田 卓

今後の都市計画に必要な地籍調査を！

- Q** 地籍調査は時間が経過すればするほど困難になる。調査をしないと起きる問題は何か？
- A** 土地の境界が不明確となり実測面積が出せない。公共事業の用地買収の支障となる。災害などで境界が不明確となり復旧遅れの要因にもなる。
- Q** 調査面積の拡大や進行しない要因は何か？
- A** 調査を土砂災害警戒区域の人口密集地へシフトし、筆数が増加する割に面積が減少している。
- Q** 地籍調査の遅れは今後の行政改革や都市計画展の妨げとなる。実質5%の費用負担で可能な地籍調査は人員と予算を増やして行うべきでは。
- A** 国への要望は行っている。予算・人員を確保して地籍調査の進展を図る。



川上 幾雄

浜田は何を大切にすまちか。

- Q** まちのビジョンを分かりやすい言葉やデザインに落とし込むべきでは。
- A** 浜田を紹介する際にも、端的に表現した言葉があればより伝えやすいと感じる場面もあった。作業中の後期総合振興計画策定において、目指す将来像は前期のそれと変えないが、新しい言葉の開発は検討する。
- Q** 方向性を明確にするのと、知名度向上だけでなく、人材採用・育成、人事評価にも効果あり。事業是非の判断もしやすく、行革効果も期待できる。前述の計画見直しにおいても意識すべきでは。
- A** 政策の方向性に理解を深めた上で、具体的施策に取組む。人材育成基本方針等においても同様に対応したい。



三浦 大紀

住み続けられるまちづくりを

久保田市政8年で浜田は元気になったのか？

Q 今年度から自治区制度が廃止され自治区長がいなくなりました。旧那賀郡の地域では住民の声が届かなくなり寂れるのではという不安の声が根強い。

A 市長が最低でも年に1回地域協議会に参加することで、住民の不安解消に努めている。

Q 久保田市長は浜田の課題を、人口減少と経済の縮小と捉え、8年間市政を運営してきたが、人口も出生数も減り続け、基幹産業と位置付ける漁業も衰退を続けている。このままいくと浜田はどうなってしまうのか。

A 少子化は全国的な傾向であり、私が市長になってからも確かに減少が続いている。この現実を踏まえて今後しっかり取り組んでいきたい。



西川 真午

コロナ禍の市長のリーダーシップを問う。

Q コロナ支援策の会議所・商工会の評価の認識を問う。

A 管内3千の事業者のうち、4割が応募され喜んでいと聞いた。さらに、飲食・宿泊応援チケットを10月に1万5千枚追加発行する。

Q 市民の生命財産を守るトップの市長が、緊急メッセージで記者会見をされた。新聞に掲載がないが、どう思うか。

A 緊急メッセージは市長が、市民の生命危機を伝えようとしてされたのに市民に一番正確な情報を伝えるべき役目の新聞が報道しない。賢明な報道各社は私の叫びを聞き、改めてほしい。

A ケーブルテレビで流れたが、新聞不掲載を語る立場にない。



牛尾 昭

障がいのある人の居場所づくりが必要だ



本年4月の開所式の様子

Q 障がいのある方が自立した生活を送るため、新たに浜田市基幹相談支援センターが開所し、総合的に自立と雇用促進の支援が行われている。居住地域の住民との関わりが少ない状況にあるが、つなげる方策と支援策は？

A 障がいのある人が地域活動に参加できる状況づくりには、まちづくりコーディネーターの活動を通して助言していく。また、まちづくり交付金の活用と拡充については検討する。



岡本 正友

地域の課題を解決し、住みたい浜田市に

Q 7月末の市街地の高齢化率は37%だ。50%を超えた町内も3カ所ある。コミュニティの崩壊も危惧される。対応と支援策について問う。

A 高齢化が進むと担い手不足になる。組織強化のため、地区まちづくり推進委員会の設立支援（4月にはまちづくりコーディネーターを配置）や資金的支援をしている。

Q 市街地でもまちづくり推進委員会が次々とできていくが、集まって話し合う場が圧倒的に少ない。空き家を改修し、地区の集会所にしてはと思うがどうか？

A 今年度、課題解決事業にハード整備に使える補助メニューを追加した。市役所の担当窓口気軽に相談してほしい。



野藤 薫

住み続けられるまちづくりを

元気な中山間地域振興の仕組みづくり総集編

Q 中山間地域を守るには農地維持が大きな課題。農林業支援センターの体制の充実をすべきでは。
A 各支所とさらに連携して組織体制を充実する。
Q 国の流域治水対策の転換を受け、川上の水田を活用した「田んぼダム」で川下の水位ピークをずらし、氾濫を防ぐ取組を。
A 田の所有者や耕作者と農作物への影響なども協議しながら検討したい。
Q 私はこの8年間、常に一次産業や中山間地域に関する課題に軸足を置き議員活動をしてきたが、最後に市長に問う。自治区制度への思いの継承は変わっていないか。
A 新たな協働のまちづくりにおいても、これまで以上に旧那賀郡を大切に



飛野 弘二

これからも住み続けたい浜田に！



へし曲がった周布橋

Q 8月14日、消防団が警戒する目の前で周布橋が「こんやく」のようにへし曲がった。上流の大長見ダムの大改修や堤防のかさ上げなど、抜本的な対策の考えを問う。
A 現時点では問題ないと考えていて、今後対策が必要なら、その都度県とともに行う。
Q はまだ市民一日議会で「ボール蹴りのできる公園が欲しい」と、中学一年生から切実なる訴えがあった。市の考えを問う。
A 地域住民の声ができるだけ反映されるよう、精いっぱい対応したい。



道下 文男

気候変動に具体的な対策を

台風9号 被害発生時の初動は

Q 8月9日午前6時30分、旭地域に避難指示が発令され、避難所が開設。旭地域以外の開設は。
A 8時30分に警戒レベル4の避難指示を市内全域に発令したのと同時に、29カ所の指定避難所を追加で開設した。
Q 波佐地区では7時30分ごろ、周布川の水位が上昇し危険な状態になったが、避難所の開設情報はなく、7時45分に開設放送があり、8時30分に全ての避難所が開設され、随時避難された。このような事態となった指揮命令系統の対応を問う。
A 避難所の開設や避難情報の発令は、各地域の情報と複数の気象情報などを踏まえ決定している。避難所の開設時期は今後の課題として検討する。



永見 利久

陸の豊かさも守ろう

旭地域協議会との意見交換での声

Q 都川の棚田は、畦畔が石積みであるが崩落する可能性は？
A 現状は棚田の管理が行われており、崩落の恐れはないと考えている。将来的に管理ができなくなると、棚田の崩落が想定される。
Q 耕作条件不利地域への補助や支援の考えは？
A 中山間地域等直接支払制度などで対応し、今年度から中山間地域振興枠において、棚田保全活動補助金を創設し、棚田の維持保全地域の活性化へ支援する。
Q 民主党政権時に、農家の戸別所得補償制度が実施されたが、制度の浜田版を検討する考えは？
A 市独自では多額な費用がかかり、難しいと考え



田畑 敬二

平和と公正をすべての人に

子どもの心と命を守る取組を！

- Q** 新型コロナウイルス感染拡大の中、保護者や子どもが多くのストレスを抱えている。全国では児童虐待が増えているが、子どものSOSの出し方教育を実施しているか？
- A** 先日、三隅中学校において「はまだCAP」の協力で実施した。
- Q** この教育を市内全学校で実施する必要があると思うが考えは？
- A** 学校だけでなく全体で取り組んでいきたい。
- Q** はまだ市民一日議会において「子ども権利条例」についての発言があった。所見を問う。
- A** 子どもの権利を保障することは大切であると認識している。条例制定は市民に広く周知する有効な手段であると考えられるので、今後研究していく。



村武 まゆみ

議会

高速バスなどを活用して昼は広島で働き、夜は浜田で過ごす人口をシェアする地域連携を。

新しい視点をいただきました。各議員が今後の議会活動に活かします。

産業建設委員会

親しみが持てる城山公園としての環境整備が必要。草木の剪定はもちろん、家族で楽しめる遊具などの設置検討を。

城山周辺整備は担当課が計画的に実施するよう働き掛けます。

総務文教委員会

消防団員確保の対策を。また、子どもたちのための通学路整備や学校統合に際して地域の声を聴くことを望む。

消防関係の検討会の状況を見ながら提言・提案などで引き続き関わります。通学路の安全確保などについては、委員が一般質問で取り上げました。

自治区制度等行財政改革推進特別教員委員会

まぐまぐの跡地を利用して、公園のない松原町にボールが使える遊び場を造ってほしい。

市の担当者も子どもの遊び場の必要性を理解していました。町内全体からの陳情などがあれば前進しそうです。



総務文教委員会

鳥獣害対策や景観配慮からごみステーションを統一しては。ごみステーションマップもあれば利便性が向上。

ごみステーションの統一について、設置時の補助金交付の部署と設置後の維持管理の部署の連携に改善の余地があることを指摘しました。全市的なマップ作成の必要性は低いと判断したため、市への情報提供にとどめました。

議員

浜田と韓国の地方都市の共通点から、新しい地方外交の可能性はある。関係人口創出を。

一般質問で市の担当部長から「訪問事業は無理でも、若者によるオンラインでの交流などを検討したい」と答弁がありました。

総務文教委員会

使いやすい学習スペースの設置で学力向上を。浜田駅近辺は利便性が高く、交流事業で地域貢献にもつながる。

学生全体の要望や他市の状況について実態調査を行うなど、市とともに調査研究します。



はまだ市民一日議会の取組が
優秀躍進賞を受賞!!



Manifesto Awards

マニフェスト大賞とは
地方自治体の議会・首長などや地域主権を支える市民などの、優れた活動を募集し、表彰するものです。優れた取組が広く知られ、互いに競うようにまちづくりを進める「善政競争」の輪を広げるために設けられています。

議会広報広聴委員会

はまだ市民一日議会のその後

7月11日に開催したはまだ市民一日議会について、10月初旬にいただいた発言内容に対する議会の対応を発言者の皆様にお返ししました。以下に発言内容と議会の対応の概要を掲載します。改選後の新たな議会広報広聴委員会のメンバーで、引き続き広聴機能の強化に努めます!

議会運営委員会

幼少期からのジェンダーギャップなどに関する性教育が重要。学習機会の提供サポートを求めたい。

性教育の重要性をテーマとする議員研修会を今後開催し、全議員で受講します。

産業建設委員会

駅前にある商業施設の跡地活用を。立地からも、観光的・歴史文化的・教育的に資する場所に。

市の方針を見極めた上で駅前のにぎわい創出につなげるよう働き掛けます。

産業建設委員会

インターネット環境の充実で移住促進を。併せて移住者への地域住民のサポートが必須。

市の高速情報通信基盤整備に併せて利用できる施設を見極め、活用の機会を創出するよう働き掛けます。

議会

イベント後も出店者と関わりが続くような地域イベントを浜田でも開催したい。会場提供などで市も協力を。

イベントを地元でやる方々をバックアップできるよう、各議員が認識して今後の議員活動を行います。

福祉環境委員会

健康意識向上のためには今まで以上のPRを。食生活改善推進協議会の活動へも理解と協力を。

減塩活動や食育の推進の必要性を感じています。会員養成講座が受講しやすくなるよう市へ働き掛けます。

産業建設委員会

リモートワークの推進で人口流出の抑制を。浜田でできる仕事のバリエーションを若者に示そう。

テレワーク対応可能な都市部の企業とのマッチングができる体制の整備を進めるよう市に働き掛けます。

議会

今を生きる子どもたちの尊厳と権利を保障するために、「浜田市子ども条例」の制定を。

改選後の議会有志のメンバーで調査研究します。

総務文教委員会

情報開示できるものは、市のHPに公開を。政策や計画の決定の過程を可視化してほしい。

同様の陳情を採択としたため、同委員会で今後の市の対応を注視します。

福祉環境委員会

町内の溝掃除や草刈りを市民がするには限界がある。浜田市が予算をつけて対応すべき。

地域での対応が難しい場合の対策が必要です。報償費の増額を含め、地域の実情に応じた対応を市へ要望します。

福祉環境委員会

介護予防事業への取組が不十分。HPに趣旨説明を掲載するとともに、事業計画の策定を。

浜田市ができていない取組を理解しました。計画を含め、必要な取組が進むよう、市へ働き掛けます。

はまだ議会だより読者アンケート

前号のアンケートへのご協力、ありがとうございます。今回は締切日と議会日程の関係で、いただいた意見の概要紹介のみとなります。次号で回答させていただきます。今号のアンケートにもぜひご協力をお願いします。



今後、まちづくりの拠点としてまちづくりセンターに何を期待されますか？

- 期待はしていない。まちづくりの拠点になるには、時間や職員育成が必要。社会教育に重点を。
- まちづくりとは何かを考えたこともないような町内会長が惰性的にしているところもある。町内会長を引き受けた人は定期的に講習を受けて勉強しなければならないような仕組みをつくってほしい。

浜田市議会へのご意見・ご要望

- 駅前の岩多屋が店を閉め、人通りがなくなったようである。駅前ロータリーが良くなったのに活気がなくて寂しい。岩多屋の建物を人々が集うコミュニティの場所にしてはどうか。例えば喫茶店など食事のできる場所になれば、自然と人が集まり、サロンのようになるのでは。高齢者が気軽に集えるような場所をつくってほしい。
- 議会だよりは見やすく、内容も充実している。
- 市民の考えや暮らしぶりを知るために、どんどん地域に出向いてほしい。

はまだ議会だよりVol.63 読者アンケート

| お住まい | 年齢 | 性別 |
|------------------------------------|----|----|
| | 歳代 | |
| Q1 改選を経て、今後の4年間の議会活動に期待することは何ですか？ | | |
| Q2 自由意見（浜田市議会へのご意見やご要望などをお聞かせください） | | |

最寄りのまちづくりセンターの回収箱へご投函ください。ウェブでの回答はこちらから。
集計の都合がありますので、令和4年1月4日までにご回答をお願いします。



12月定例会議の予定

11月30日(火)から開会です。
個人一般質問は12月1日(水)から6日(月)です。
ぜひ傍聴にお越しください。
※変更になる場合があります。

表紙について

浜田市世界子ども美術館にて、「音のなる木のアート展」が1月10日(月・祝)まで開催中です。表紙はこのアート展にちなんで展示中の作品です。作品テーマである「木」のように浜田市議会が地域に、市民に根付くような存在でありたいと思い、今回の表紙として美術館から提供していただきました。新しい議会にも引き続き注目ください。

あとがき

議会広報広聴委員会の新しいメンバーが決まりました。次号から同委員会による編集です。ご期待ください。
(議会事務局)

★この議会だよりは一部あたり46・86円(税込)です。